別所だより

横浜市立別所小学校　　令和８年３月18日発行

感動的な日々

校長　　大島　宏二

つい最近まで、朝、家を出るときに外は真っ暗だったのに、きれいな朝焼けの空を見ながらの出勤に変わり、春の訪れを感じます。ふと気が付くと本校正門前の大きな桜の木もつぼみを膨らませています。いよいよ今年度の終わりが近付いてきました。

２月から３月に行われたミラノ・コルティナ オリンピックや野球のWBC大会開催中は、興奮と感動の日々でした。ただ、海外に目を向けなくても、この別所小学校の中でも感動的な場面に出会うことがあります。先日、中学年のある教室で子どもたちと一緒に給食を食べていた時の出来事です。２回目のおかわりの人は、１回目の人を優先するというルールは、どの学級でも見られる光景で、その学級でも食缶に並ぶ順番を譲ってあげていました。その際、もう残り少なくなった食缶からお玉で汁物をすくおうとしている男の子が、左手にお椀、右手にお玉をもちながら「なかなかすくえない。」とつぶやきました。すると、２回目のおかわりで順番を譲っていた女の子が、さっと食缶を傾けて汁物をすくいやすくしてあげている姿が目にとまりました。頼まれたわけでもなく、そして自分のおかわりの分が無くなってしまうかもしれないのに、躊躇なく自然に手を貸す姿に、ちょっぴり感動してしまいました。そしてその後、おかわりを終えたその男の子はそのまま自分の席に戻ることをしないで、次に並んでいたその女の子がお玉ですくうときに、自分がしてもらったのと同じように食缶を傾けて汁物をすくいやすくしてあげていました。またまた感動です。しかも、おかわりのときにはマスクをしてしゃべらないというルールを守りながらの無言のやり取りに、４月からこれまでに築き上げてきた学級ルールの定着ぶりと子どもたち同士の思いやりを目の当たりにし、ほっこりとした気持ちになりました。

素直で色々なことに目を輝かせながら一生懸命に取り組む６年生９４名が、明日、卒業の日を迎えます。卒業式で歌う曲の練習を始めたときには、ソプラノとアルトのどちらも相手の旋律に引っ張られてしまい、悪戦苦闘していました。それでも、アドバイスをくれる音楽担当教諭を真っすぐな目で見つめ、何度も何度も繰り返し練習をして上達しようとする姿は、その歌声と合わせて心を打つものがありました。明日の卒業式は、感動的で心に残る素敵な式になることを確信しています。

今年度も保護者やPTA、地域の皆様方のご理解とご協力に感謝いたします。

なわとび記録会

本校では、体力の維持・向上を目的に縄跳び記録会を実施しています。２月には各種目の上位者が参加するチャンピオン大会を行いました。

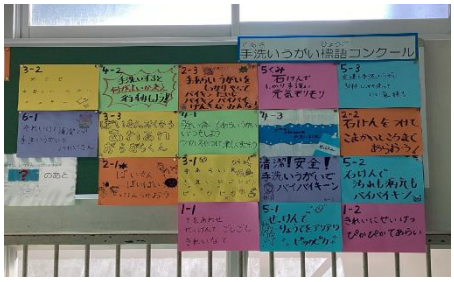
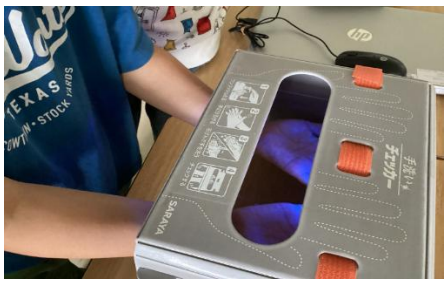
当日は、運動委員会の児童が中心となり、司会や準備、片付けなどの運営を担当しました。日頃の練習の成果を発揮し、歴代記録が更新される種目も見られるなど、大変盛り上がった大会となりました。

２年　ベイスターズ訪問授業

３月３、４日に横浜 DeNA ベイスターズの太田コーチ、松本コーチに、バットの握り方やボールの投げ方を教わりました。何度か練習をする中で、コツを掴み、バットにボールが当たるようになったり、投げたいと思った所に投げられたりして、楽しみながら野球に親しみました。

登校班まとめの会

３月５日（木）に登校班まとめの会を行いました。各班の集合教室に集まり、班長を中心に登下校についての振り返りを行いました。また、一年間登校班をまとめてきた班長・副班長に感謝を伝え、来年度の班長への引継ぎを行いました。引き続き、子どもたちが安全に登下校できるよう取り組んでいきたいと思います。保護者や地域の皆様、そして学援隊の皆様、今年度のご協力ありがとうございました。来年度もよろしくお願いいたします。

第２回学校保健委員会　開催

今年度の学校保健委員会のテーマは、「目指せ！別所のせいけつマスター！」でした。保健委員会の児童が話し合い、冬の寒い時期に体調不良による欠席が多いこと等から、正しい手洗いうがいの周知徹底が必要だと考えました。そこで、手洗いスタンプラリー、手洗いチェッカー体験会、手洗いソング放送、ハンカチチェックなど保健委員会が様々な取り組みを行いました。学校内科医の鈴木章浩先生からも講評をいただき、手洗いうがいの意識を高めることができました。